



佐藤祐光さん
-白沢町-

真下真帆さん
-戸鹿野町-

狩野裕子さん
-西原新町-

大倉奈々さん
-屋形原町-

お金では買えない
心のこもったおもてなしで、移住をお手伝い

夢を応援 移住コンシェルジュ

2022年度の市の相談会における移住希望相談者数（オンライン含む）は53組（12月6日現在）。移住を考えると、住宅や仕事の情報、移住後に困ったときのサポートが必要になってきます。ワークスタイルの多様化や地方拠点といった選択肢が広がっている中、市に在籍する移住コンシェルジュは、それぞれに合った暮らしができるための提案をしています。

コンシェルジュとしての思い

良さは何といっても災害が少ないところと実感しています。

狩野 私は生まれも育ちも沼田で、年を重ねるごとに愛着を深めています。人との触れ合いが大好きで、沼田の良さを伝えたいと思いました。

移住者の年齢層、求めるものは？

真下 13年前に結婚で沼田へ。最初は沼田の良さが分かりませんでした。人が人の温かさやのびのびとした環境の中で子育てを通して、沼田が好きになりました。

狩野 仕事がりモートになり、移住を考える人が多いです。ゆっくり老後を過ごしたい人は、スーパーや病院などが近くにある利便性、東京へのアクセスの良さを求めています。
真下 子育て世帯も多く、沼田の保育施設の広い園庭に驚きます。

大倉 さまざまな土地での地域活動の経験を生かして、地元でも積極的に人と関わり、訪れる人に楽しんでもらいたいと思いました。

大倉 スキーが好きで、移住と同時に沼田の企業に転職した人もいます。

佐藤 私は埼玉出身で全国転勤のある会社に勤めていましたが、10年前に沼田に落ち着きました。沼田の

佐藤 若い人が増えていきますね。HPの充実やSNSの発信など、若年層が注目するインターネットの基盤づくりを力を入れています。